

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		令和（ 元 ）年度
		学習アプリ「ロイロノート」を使用した国語「随筆」の作文指導
授業について	教科名等	<input checked="" type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他( )
	単元・題材名	自分の思いや考えを整理して書こう「随筆を書こう」
	授業の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの体験を振り返り、印象に残っている出来事を思い出し、書く内容を整理することができる。</li> <li>・随筆の文章式を理解し、読み手に伝わりやすい、文章の構成を考えることができる。</li> </ul>
	学力の3要素	<input checked="" type="checkbox"/> 「知識及び技能」 <input checked="" type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」 <input checked="" type="checkbox"/> 「主体的に学習に取り組む態度」
学習集団と子供の実際	学校・学部・学年・人数	<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない ( 6 )年 ( 31 )人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input checked="" type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子供の困難さ	<input type="checkbox"/> 見ること <input type="checkbox"/> 聞くこと <input type="checkbox"/> 話すこと <input type="checkbox"/> 読むこと <input checked="" type="checkbox"/> 書くこと <input type="checkbox"/> 動くこと <input type="checkbox"/> コミュニケーションをすること <input type="checkbox"/> 気持ちを表現すること <input type="checkbox"/> 落ち着くこと・集中すること <input type="checkbox"/> 概念(時間、大きさ等)を理解すること <input type="checkbox"/> 学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/> その他  書きたいことや書くべきことを、頭の中だけで整理をすることが難しく何から書けばいいのかわからない。同じ内容を繰り返して書いてしまう。漢字を覚えることが苦手で、自分で書く文章はほとんど平仮名を使う。書くこと自体の負担が本人にとって大きい。
支援機器等教材の活用について	活用の意図	Aコミュニケーション支援( <input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援( <input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援( <input checked="" type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) D実態把握支援( <input type="checkbox"/> D1実態把握支援)
	使用した支援機器等教材の名称と画像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ iPad</li> <li>・ アプリ：ロイロノート/LoiLo inc (文字や写真などを使ってスライドを作成し繋げたり並び替えたりするアプリ)</li> </ul> 
授業展開	授業展開・支援の手立て	<1時間目> 5分 作文の書き方について確認(テーマ、内容、構成) 5分 ロイロノートを使った作文づくりについて説明 10分 ロイロノートの操作方法を確認(全員にiPadを1台配布) 15分 作文として自分が伝えたい内容をスライドに書き出す <2時間目> 40分 作文の構成を考えながらスライドの順番を変える、書きたい内容を再度検討する 5分 まとめ <3時間目> 40分 ロイロノートでまとめた考えを用紙に書く 5分 まとめ
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	<クラスメイト> ・普段は漢字を使うことが少なかったり、間違った漢字を使用したりすることが多い児童が、予測変換機能を利用することで正しい漢字を選択して書くことができた。 ・アプリを使用してもノートに書いてもいいという方法をとったことで、各児童が自分に合った方法を選択し、主体的に取り組むことができた。 <対象児> ・これまで支援機器等を使わないで作文を書くときには、文量が少なかったり、内容を繰り返してしまったりしていたが、自分の力で伝わりやすい構成で作文を書くことができた。 ・予測変換機能を利用することで、正しい漢字を選択して書くことができた。 ・書くよりも比較的得意なキーボード入力で文章を打つことで、執筆の負担を軽減でき、集中して授業に取り組むことができた。 ・ロイロノートの使用方法について、シンキングツールを使い、自分なりに工夫をすることができた。

